

特別寄稿 ニューリーダー研修受講者より

医療環境に対応する臨床検査部門の役割

地方独立行政法人静岡県立病院機構
静岡県立総合病院 平松直樹



静岡県臨床衛生検査技師会が創立65周年を迎えられまして、誠におめでとうございます。また、日頃の技師会活動に対しまして敬意を表します。私たちの臨床検査技師として有する技術が静岡県の医療の発展に貢献し、日々仕事に精励できるのも技師会の支えがあるからこそと感謝いたします。

【国の情勢】

医療・介護の需要が増大する2025年に向けて、地域包括ケアシステムの構築が進む中、医療提供体制の改革が始まります。その中で各県単位における地域医療構想が具体化します。急性期病床の見直し等、病院を取り巻く環境が大きく変化していきます。

更に診療報酬の改定により病院収益は左右され、2019年に予定されている消費税率の引き上げにより大きな影響が出てきます。このように様々な要因により職場環境に変化が生じますが、信頼が得られる検査室の構築のために職員が一丸となり取り組む必要があります。

【働き方改革】

6月に働き方改革関連法が成立、2019年4月に施行されます。その主な内容は、①勤務間インターバル②宿日直体制③時間外労働の上限規制④同一労働・同一賃金⑤年休取得の義務化等、私たち臨床検査技師が定年まで働き続けることが可能な勤務体制を定年延長の議論が進む中で、技師会においてもその方向性を示していくことが求められます。そこで、働き方とは「人生への問いかけ」です。自らの仕事について真剣に考えなければ真の「働き方改革」は実現できません。

【これからの検査室】

平成30年4月の診療報酬改定時にはダヴィンチによる対象手術症例の範囲拡大がありました。また、人工知能が医療分野で開発が進む中、今後は検査室においても積極的に導入されます。安心で質の高い検査結果を提供するために必要な品質・精度管理基準に対応可能なシステム構築が求められます。さらに、ゲノム医療の推進に基づく遺伝子診断に臨床検査部門としての役割を担う必要性が明確になります。検査室の体質改善や個人の能力向上、意識改革を目指す為には、個人がチームの一員として検査室での責務を全うしていく姿勢が大切です。

【職員教育】

医療制度改革の時代を迎え今後、病院機能の改革とその戦略が加速化していきます。その中で臨床検査技師としてのスキルアップと業務に対する責任の明確化・実行が今後の課題となります。その中で学術活動・認定資格取得に取り組み、個人のモチベーションの向上が職場の活性化につながる一つの要因となります。しかしその前に大切なことは、自らが置かれた場所での働き方です。その意味を知り、最善を尽くし、お互いに敬意と思いやりの心を忘れずに仕事に向き合うことです。

【最後に】

今後、更に想定される大規模災害時の病院内における臨床検査部門の確実な稼働を目的とし、検査機器・人員配置の確保が可能な体制を準備しておく必要があります。安定した医療提供体制を担う臨床検査部門が盤石な組織として成り立つには、静岡技活動の発展が必要不可欠であり、そこに私たち会員が積極的に協力していく体制が必要です。

地域ニューリーダー育成研修会に参加して ～今後の私の役割～

磐田市立総合病院 臨床検査技術科 大井直樹



静臨技創立65周年、おめでとうございます。

私は平成26年度から静臨技臨床検査総合部門員となり、技師会活動に足を踏み入れました。部門長や部門員、静臨技役員の方々に色々とお教えいただきながら、「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」、「認知症対応力向上講習会」の開催、「全国・中部圏支部医学検査学会」、「検査と健康展」等のお手伝いをさせていただいていました。しかし、技師会や臨床検査技師の未来のあり方を真剣に考えることなく、平成29年度後半を迎えていました。そんなある日、静臨技会長より日臨技主催の「地域ニューリーダー育成研修会」への参加依頼があり、「基本は断らない」という私のポリシーのもと、研修会の目的や内容を理解していないまま、「参加させていただきます！」と返答しました。すると、1ヶ月後に日臨技事務局から研修会の案内状とともに210ページにわたる日臨技創立65周年記念誌が届き、それを熟読し改善が必要な日臨技事業の理由と問題点をまとめ、提出するという事前課題があり、通常の研修会との違いを察することとなりました。

平成30年1月に東京の日臨技会館で開催された「地域ニューリーダー育成研修会」に静臨技代表として参加することとなりました。この研修会の目的は、『①医療情勢や国の政策を学び、臨床検査技師の進むべき未来や日臨技活動のあり方について共有を図る。②組織目標達成に向けた事業展開の考え方や、プロジェクト成功に向けた現状分析、課題解決力、計画立案などの手法を習得する。③日常業務にも活用できるマネジメントスキルを習得する。』です。各担当執行理事より、日臨技の組織や事業についての概要説明、宮島会長による医療情勢と政策、臨床検査技師の進むべき未来と次世代リーダーに求めるものと題した講義、日臨技事業の課題解決案作成を目的としたグループワーク及び発表会、そして初日の夜は交流会と盛り沢山の内容でした。グループワークではオフサイトミーティングとステップ表（MTS：目標設定を通じた管理）という考え方と手法を学び活用しました。オフサイトミーティングは気楽に真面目な話をするをコンセプトとし、グループメンバーの感じていることや、経験、思いなどをありのままに共有し、相談や協力がしやすくなる関係性を築き、チーム力を高め、創造的な活力を生み出していきます。ステップ表は目標共有、全員参加、自力実行をコンセプトとし、目標達成への道筋やキーワード、イメージ、行動のステップ、協力者の共感等、必要な情報を1枚にまとめ、見える化する創造的目標達成システムです。また、「なぜなぜ5回」の思考を合わせることで、ものごとの因果関係やその裏に潜む真の原因を突き止めることができ、問題解決の糸口を見つけることができます。最終日の発表会に向けて、お互いを尊重しあい活発で楽しいグループワークを行い、日臨技事業の課題解決のためのステップ表の作成を終えたのは22時を過ぎた頃でした。そして、研修会を終了した私たちに課せられた課題は、リーダーシップを発揮し、都道府県技師会でこのような研修会を開催することでした。

平成30年度から静臨技臨床検査総合部門長となり、8月に西部で研修会を開催し、12月には中部、東部で研修会を開催する予定です。そのような中、10月に熱海にて過去4回開催された日臨技主催「地域ニューリーダー育成研修会」の参加者対象に2泊3日の「地域ニューリーダー育成研修会」が開催され、静臨技代表として参加させていただくこととなりました。この研修会の目的は、『①「地域ニューリーダー育成研修会」受講後の自らの取り組みを振り返り、成果の確認と課題を明確にし、今後の取り組みを構築する。②刻々と変化する社会、医療情勢を学び、これらを踏まえた認識を新たな観点で議論できる見識を持つことにより、臨床検査技師の進むべき未来を描き、共有する。③参加者同士の交流を深めることにより、都道府県技師会における情報共有や提供、連携を図る。』です。当日、熱海駅に着くと前回の研修会に参加した仲間と再会し、バスで会場となるホテルに向け山を登ること30分。いよいよ研修会という宿舎が始まりました。医療情勢や日臨技の組織や事業についての詳細説明、宮島会長によるリーダー論の講義、職場や静臨技での前回研修会を経た後の活動状況の振り返りと今後の自分の役割についての考察、夜は恒例の懇親会、そして、10年後日臨技のあるべき姿へ向けてのロードマップについての提案書作成及び発表会、予想以上の濃密な内容でした。研修会の最後には参加者が決意表明として漢字一文字を選択し宣言する場が設けられました。私の選んだ漢字は『動』。どんなに的確な問題点を導き出しても、どんなに理想のビジョンを掲げても、どんなに綿密な計画を立てても動かなくては、何も変わりません。周りを巻き込む動きをしなくては、何も変えることはできません。リーダーはビジョンを明確にし、周りの人を巻き込み目的意識を共有するために動き、周りを動かし、そして、ビジョン達成まで動き、動かし続けなければいけません。

今後、職場や静臨技で周りの理解を得ながらできることから確実に行動していきたいと思えます。『とにかく動き、行動します！』これが私の役割です。

今回の研修会で全国に大切な仲間ができました。その仲間との絆を大切に、前に進んでいきたいと思えます。

このような貴重な研修会に参加させていただき、静臨技会長をはじめ、理事の方々、そして会員の方々に心より感謝申し上げます。

未来に適応できる臨床検査技師を目指して

日本臨床衛生検査技師会中部圏支部 臨床血液部門長
独立行政法人地域医療機能推進機構 三島総合病院 大橋 勝春



静岡県臨床衛生検査技師会創立65周年、おめでとうございます。

私は現在、学術部臨床血液部門に携わって9年になります。部門に携わることで、学術的知識に身に付けることはもとより、他の部門員や講師の先生方との施設間の情報交換を始め、経験に基づいた貴重な話を聞くことができ、大変有意義な経験ができていますと感謝しています。

静岡県は、日本検査血液学会が本州で唯一、支部を置く程、血液分野の学術活動に熱心な県です。静臨技臨床血液部門でも、年4～5回開催する主催研修会の企画をする際、会員の皆様のスキルアップやニーズに応えられるよう、部門内で活発な討議を重ね1回1回大切に企画運営しています。中でも、歴代の部門員の尽力で毎年続けられている“静岡血液フォーラム”は19回を数え、県内外より150名以上の参加者のもと、高い評価をいただいております。他県からも一目置かれる研修会となっています。また、年々増え続ける参加会員の皆様の熱心に学ぼうとする姿勢を身をもって感じ、研鑽をサポートするさらなる企画を考える原動力ともなっています。

この学術事業は臨床血液部門のみならず、静臨技ではどの部門でも、学びたいと思う会員の皆様に対するサポート体制がしっかりされていると感じています。

また、私は第3期地域ニューリーダー育成講習会にも参加させていただきました。宮島会長の『日臨技の未来を担うリーダーとは』と題した講演で、「医療チームの中で、今後、臨床検査技師がどのように業務変化をしていくかで検査技師の未来は決まる！」と語られ、既に迎えた超高齢社会に臨床検査技師も変化していかなければならない事を感じました。

現在、臨床検査全体を捉えた場合、医師の具体的な指示の下、検査前の説明、採血や検体採取、検体測定、検査結果の解釈、検査後の説明と言う一連の工程作業において、臨床検査技師が積極的な関与をしているとは言えない！と感じていますが、この一連の作業を担い、遂行し、医師の診断に繋げる業務体系に変革する時代がきていると思います。自分自身、日臨技で進めている、“検査説明・相談のできる技師育成事業”に参加して、検査全体の工程作業において積極的な関与をする為には、臨床上で必要な知識・技術の習得に努めなければならないと改めて感じました。それには今後、我々1人1人が将来を見据え、臨床検査技師として臨床検査各領域における自らを研鑽する専門性と、診療や病院運営上のレベルアップに繋ぐ上で多能性の重要性を認識し、10年先20年先の事を意識して行動できる技師を目指さねばなりません。日々のルーチンワークをこなすだけでなく、学術的な知識を深めることで個人がスキルアップし、仕事を完遂できた喜びを得、そしてそれが各施設での臨床支援につながることもなると思うので、今後も多くの皆様が技師会活動に積極的に参加して下さる事を願ってやみません。

静臨技創立75周年・100周年には、臨床検査全体において積極的な関与をしている！と言える会員が増えていることを願い、自分自身も日々研鑽を重ねていきたいと思っています。

3 表彰

叙勲受章者

- 勲五等 瑞宝双光章
川 越 功 (澤記念会神経科 浜松病院) 平成16年4月29日
- 勲五等 瑞宝双光章
泉 正 和 (浜松医科大学医学部附属病院) 平成27年4月29日
- 勲五等 瑞宝双光章
山 口 浩 司 (聖隷三方原病院) 平成27年4月29日
- 勲五等 瑞宝双光章
横 地 常 広 (静岡県立総合病院) 平成28年4月29日

厚生労働大臣表彰受章者

- 於 日本臨床衛生検査技師会創立55周年・法人化45周年記念式典 ホテルオークラ東京
平成20年2月8日
柴 崎 光 三 (協立十全病院)
泉 正 和 (浜松医科大学医学部附属病院)
- 於 日本臨床衛生検査技師会創立60周年・法人化50周年記念式典 品川プリンスホテル
平成23年11月11日
高 木 義 弘 (静岡県立こども病院)
齋 藤 辰 男 (県西部浜松医療センター)
- 於 日本臨床衛生検査技師会創立65周年・法人化55周年記念式典 霞山会館
平成29年6月23日
三 宅 和 秀 (静岡厚生連清水厚生病院)
伊 藤 喜 章 (静岡厚生連遠州病院)
山 田 哲 司 (聖隷三方原病院)

静岡県知事表彰受章者

- 於 静岡県臨床衛生検査技師会創立65周年記念式典 静岡グランドホテル中島屋
平成30年6月2日
豊 田 次 郎 (榛原医師会臨床検査センター)

日本臨床衛生検査技師会表彰

各受章者

平成16年度 学術研究奨励賞 シスメックス形態検査賞	関根久実 (静岡赤十字病院)
平成17年度 学術研究奨励賞 生物化学分析部門 (常光ELP賞)	佐野元裕 (静岡県立こども病院)
平成18年度 学術研究奨励賞 シスメックス形態検査賞	佐野元裕 (静岡県立こども病院)
平成19年度 学術奨励賞 優秀演題賞	関根久実 (静岡赤十字病院)
平成21年度 学術奨励賞 優秀演題賞	佐野あゆみ (静岡赤十字病院)
平成25年度 学術奨励賞 特別奨励賞	宮崎研一 (焼津市立総合病院)
平成28年度 学術奨励賞 最優秀論文賞 優秀論文賞 優秀演題賞	村越大輝 (静岡県立総合病院) 鈴木駿輔 (静岡県立総合病院) 須藤敬文 (静岡赤十字病院)

永年職務精励表彰受章者

平成15年度 表彰受章者	27名	平成16年度 表彰受章者	31名
平成17年度 表彰受章者	29名	平成18年度 表彰受章者	20名
平成19年度 表彰受章者	30名	平成20年度 表彰受章者	119名
平成21年度 表彰受章者	30名	平成22年度 表彰受章者	39名
平成23年度 表彰受章者	33名	平成24年度 表彰受章者	34名
平成25年度 表彰受章者	36名	平成26年度 表彰受章者	29名
平成27年度 表彰受章者	36名	平成28年度 表彰受章者	54名
平成29年度 表彰受章者	40名	平成30年度 表彰受章者	42名

(受章者数のみ)

中部地区臨床衛生検査技師会・ 日本臨床衛生検査技師会中部圏支部表彰

各受章者

- 第52回 日本臨床衛生検査技師会中部圏支部検査医学会 平成26年11月10日授与
 学術奨励賞 佐々木 理 恵 (静岡県立総合病院)
- 第53回 日臨技中部圏支部検査医学会 平成27年9月26日授与
 学術奨励賞 窪 田 亜 希 (静岡県立こども病院)
- 第54回 日臨技中部圏支部検査医学会 平成28年12月10日授与
 学術奨励賞 杉 山 聡 (富士脳障害研究所附属病院)

静岡県臨床衛生検査技師会表彰

名誉会員表彰受章者

於 平成18年度社団法人静岡県臨床衛生検査技師会総会 アクトシティ浜松研修センター
 平成18年5月31日

岡 山 虎 男 (第5代静岡県臨床衛生検査技師会会長)
 宇佐美 元 章 (第6代静岡県臨床衛生検査技師会会長)
 川 越 功 (第8代静岡県臨床衛生検査技師会会長)

於 静岡県臨床衛生検査技師会創立65周年記念式典 静岡グランドホテル中島屋
 平成30年6月2日

泉 正 和 (第10代静岡県臨床衛生検査技師会会長)

功労者表彰受章者

平成15年度

八 木 弥 八 (静岡赤十字病院) 野 沢 清 (桜ヶ丘総合病院)
 高 橋 満 (町立浜岡総合病院)

平成18年度

中 西 健 二 (静岡厚生連遠州病院) 古 橋 章 吉 (聖隷予防検診センター)

平成20年度

永 田 弘 (静岡県予防医学協会)

平成21年度

松 川 昭 宏 (株)エスアールエル静岡沼津ラボラトリー)

平成25年度

泉 正 和 (浜松医科大学医学部付属病院) 齋 藤 辰 男 (浜松医療センター)

平成28年度

榛葉 智之 (公立森町病院)

豊田 次郎 (榛原医師会臨床検査センター)

平成30年度

杉澤 きよ美 (沼津市立病院)

栗田 昭 (磐田市立総合病院)

学術業績者表彰受章者

第33回医療功労賞 (読売新聞社主催、厚生労働省後援)

於 帝国ホテル東京 平成17年3月14日

八木 弥八 (静岡赤十字病院)

第42回小島三郎記念技術賞 (公益財団法人黒住医学研究振興財団)

於 野口英世記念会館 平成19年5月11日

大畑 雅彦 (静岡赤十字病院)

永年職務精励表彰受章者

平成15年度	表彰受章者	17名	平成16年度	表彰受章者	29名
平成17年度	表彰受章者	28名	平成18年度	表彰受章者	30名
平成19年度	表彰受章者	21名	平成20年度	表彰受章者	27名
平成21年度	表彰受章者	23名	平成22年度	表彰受章者	25名
平成23年度	表彰受章者	30名	平成24年度	表彰受章者	31名
平成25年度	表彰受章者	62名	平成26年度	表彰受章者	42名
平成27年度	表彰受章者	52名	平成28年度	表彰受章者	41名
平成29年度	表彰受章者	38名	平成30年度	表彰受章者	34名

(受章者数のみ)

学術奨励者表彰受章者

平成15年度 特別奨励賞

米山 昌司 (静岡県立がんセンター)

曾根 利久 (市立島田市民病院)

村松 一巳 (県西部浜松医療センター)

平成17年度 特別奨励賞

酒井 満 (順天堂大学医学部付属病院)

関根 久実 (静岡赤十字病院)

廣野 裕章 (志都呂クリニック)

平成18年度 特別奨励賞

田代 守義 (伊豆保険医療センター)

村井 信夫 (静岡県立総合病院)

小椋 龍司 (社会保険浜松病院)

平成20年度 特別賞 (あしなが表彰)

池ヶ谷 佳寿子 (静岡市立清水病院)

加藤 智行 (浜松医科大学医学部付属病院)

児玉 由美子 (順天堂大学医学部付属静岡病院)

平成21年度 特別賞（あしなが表彰）

橋ヶ谷 尚 路（焼津市立総合病院） 外波山 幸 稔（静岡厚生連遠州病院）
永 田 かおり（静岡県立静岡がんセンター病理診断科）

平成22年度 わかふじ奨励賞

鈴木 泰 秀（静岡厚生連遠州病院） 楠 山 美 保（静岡市立静岡病院）
落 合 真 澄（静岡県立総合病院） 山 本 計 希（浜松労災病院）
長 田 真 幸（聖隷三方原病院）

平成23年度 わかふじ奨励賞

佐々木 奈津美（浜松医療センター） 齋 藤 文 香（浜松医科大学医学部附属病院）
久 米 克 英（静岡厚生連遠州病院） 大 竹 麻衣子（静岡県立こども病院）
村 松 志保美（市立島田市民病院） 北 野 遼（静岡厚生連清水厚生病院）
田 中 芳 次（NTT東日本伊豆病院） 佐 野 克 典（沼津市立病院）

平成24年度 わかふじ奨励賞

石 井 浩 崇（NTT東日本伊豆病院） 栗 岡 純 子（静岡県立総合病院）
佐 藤 晃（熱海所記念病院） 長 田 真 幸（聖隷三方原病院）
村 越 大 輝（静岡県立総合病院） 中 村 和 也（静岡厚生連清水厚生病院）
阿 部 将 人（静岡県立静岡がんセンター）

平成25年度 わかふじ奨励賞

佐 藤 晃（熱海所記念病院） 五十嵐 正 人（浜松医療センター）
和 田 侑 子（聖隷浜松病院） 小 林 祐 子（静岡厚生連遠州病院）
野 口 梨 絵（静岡県立総合病院） 島 田 誠（熱海所記念病院）
望 月 茜（聖隷三方原病院） 田 口 さやか（浜松医療センター）

平成26年度 わかふじ奨励賞

高 崎 将 一（静岡赤十字病院） 小杉山 晴 香（静岡県立総合病院）
島 田 誠（熱海所記念病院） 深 澤 聡（聖隷浜松病院）
須 藤 淳（静岡市立清水病院） 古 川 由香利（伊豆保険医療センター）
岡 田 宇 史（静岡厚生連遠州病院） 福 井 望（聖隷健康診断センター）

平成28年度 わかふじ奨励賞

川 井 孝 太（磐田市立総合病院） 吉 見 太志郎（静岡厚生連静岡厚生病院）
加 藤 成 美（聖隷浜松病院） 藤 田 悠 乃（すずかけセントラル病院）
細 井 麻 純（静岡市立静岡病院） 土 屋 明 実（順天堂大学医学部附属静岡病院）
滝 創 紀（富士宮市立病院） 宇 野 圭 祐（聖隷浜松病院）
坂 本 望 奏（熱海所記念病院）

平成29年度 わかふじ奨励賞

原 田 紗 希（静岡県立総合病院） 増 田 未 優（静岡市立静岡病院）

中 田 亜 希（聖隷三方原病院）
緑 川 沙也華（熱海所記念病院）

大 橋 悟（坂の上在宅医療支援医院）
鳥 居 見 咲（すずかけセントラル病院）

特別表彰受章者

特別賞

於 静岡県臨床衛生検査技師会創立65周年記念式典 静岡グランドホテル中島屋
平成30年6月2日
山 口 浩 司（聖隷三方原病院）

会長賞

於 静岡県臨床衛生検査技師会創立60周年記念式典 静岡グランドホテル中島屋
平成25年6月22日
松 岡 敏 彦（浜松医療センター）

於 静岡県臨床衛生検査技師会創立65周年記念式典 静岡グランドホテル中島屋
平成30年6月2日
三 宅 和 秀（静岡厚生連清水厚生病院） 菌 田 明 広（静岡県立総合病院）
市 川 千 津 子（静岡済生会総合病院）

医療支援感謝状

於 静岡県臨床衛生検査技師会平成28年度定時総会 静岡県男女共同参画センターあざれあ
平成28年6月11日
杉 山 弥 生（静岡市立静岡病院） 大 井 直 樹（磐田市立総合病院）
深 澤 聡（聖隷三方原病院）

4 静岡県臨床衛生検査技師会 資料

静岡県臨床衛生検査技師会役員一覧 (平成14年以降)

役職\年度	平成14・15年度	平成16・17年度	平成18・19年度	平成20・21年度	平成22・23年度
会 長	柴崎光三	高木義弘	泉正和	泉正和	横地常広
副 会 長	古橋章吉	松川昭宏	松川昭宏	高島吉則	山口賢
	高木義弘	高島吉則	高島吉則	松川昭宏	高島吉則
常 務 理 事	渡辺数由	泉正和	上林寛司	上林寛司	上林寛司
	泉正和	藤原誠	藤原誠	藤原誠	松川昭宏
	荒浪途高	朝比奈利憲	豊田次郎	伊藤喜章	三宅和秀
理 事	松川昭宏	榛葉智之	溝口壱	横地常広	松岡敏彦
	早川雅弘	半田雅則	遠藤俊彦	佐野克典	勝又俊郎
	吉岡辰泰	渡辺時治	石川隆之	豊田次郎	原田勉
	榊原薫	豊田次郎	稲葉優香	高橋篤	海野和浩
	荒井知子	村松孝恵	井林伸之	杉山八寿子	宇治川昌克
	小嶋恵子	村松宗子	村松宗子	川原教次	池ヶ谷やす代
	太田眞仁	古橋章吉	杉山八寿子	堀井靖久	栗原五美
	高橋満	齋藤辰男	廣野裕章	大森健彦	釋悦子
	兼子光治	石川隆之	川原教次	片瀬史朗	川原教次
	榛葉智之	鈴木佳子	鈴木佳子	村松宗子	高橋篤
事務局 長	森本典子	荒浪途高	齋藤辰男	齋藤辰男	伊藤喜章
会計部 長	齋藤辰男	小嶋恵子	榛葉智之	榛葉智之	豊田次郎
監 事	井上孝司	柴崎光三	渡辺時治	石川隆之	石川隆之
	谷崎隆行	吉岡辰泰	荒浪途高	松下芳昭	榛葉智之
顧 問	菅野剛史	菅野剛史	菅野剛史	菅野剛史	菅野剛史
	吉永帰一		岡田幹夫	鈴木勝彦	鈴木勝彦

役職\年度	平成24・25年度	平成26・27年度	平成28・29年度	平成30・31年度
会 長	横地常広	三宅和秀	山口浩司	伊藤喜章
副 会 長	原田勉	鈴木雅人	杉澤きよ美	須田達也
	三宅和秀	藪田明広	藪田明広	大石和伸
常 務 理 事	松岡敏彦	山口浩司	清水憲雄	清水憲雄
	松川昭宏	稲村義男	都築農夫志	羽切政仁
理 事	藪田明広	三原利仁	中島和浩	坂根潤一
	山口浩司	山田哲司	直田健太郎	齋藤晴義
	勝又俊郎	杉澤きよ美	須田達也	石井浩崇
	鈴木雅人	井川千春	勝又隆子	勝又隆子
	海野和浩	都築農夫志	羽切政仁	齋田英之
	高島吉則	市川千津子	松本誠司	加茂川暢彦
	市川千津子	新村喜明	遠藤三佳	鈴木淳二
	栗原五美	川口貴子	川口貴子	川口貴子
	加藤智行	清水憲雄	山田哲司	直田健太郎
	清水憲雄	加藤智行	佐原卓夫	佐原卓夫
事務局 長	高橋篤	梶間弘美	鈴木真紀子	本多譲
	伊藤喜章	伊藤喜章	伊藤喜章	榛葉智之
会計部 長	豊田次郎	豊田次郎	市川千津子	鈴木真紀子
監 事	渡辺時治	渡辺時治	藤原誠	藤原誠
	榛葉智之	榛葉智之	三宅和秀	中島和浩
顧 問	菅野剛史	篠原彰	篠原彰	紀平幸一
	鈴木勝彦			
名誉 会 員		川越功	川越功	川越功
				泉正和

静岡県臨床衛生検査技師会組織図 (平成30年度)

